

さんくす

急ピッチで進む阿左美駅工事

桐生バイパスの拡幅に伴い、現在地から200メートルほど新桐生駅寄りに移転する阿左美駅の工事が、来春の営業開始に向けて急ピッチで進んでいます。

取材をした11月9日(土)の時点では、プラットホームの工事が急ピッチで進み、その全容が姿を現しましたが、駅舎については、まだその姿を見ることは出来ません。



姿を現したプラットホーム

みどり市建設課の話では、「新駅の開業は令和2年春と予定していますが、正確な月日は未定」としています。しかし、東武鉄道では3月のダイヤ改正を望んでいて、それ以降にず

らすことはできません。そのため、新しいダイヤとなる3月末または、4月初旬には新駅が利用開始になるものとみられます。

新駅のデザイン等については「12月議会で諮られて決定するため、それまでは図面を出せない。また、建築費用も同議会で決定する」とのことです。

駅舎の建設期間は実質的に3か月未満の工期となることから「駅舎は完成しても、駅前広場の整備がどこまでできるか微妙な状態」と話していました。



地元住民ら下草刈り、荒神山

みどり市笠懸町一区、二区、三区が共同で主催する荒神山の下草刈りが10月9日(土)に行われ、地元住民のほか、阿左美沼土地改良区や荒神山友の会、笠懸東小学校PTA関係者ら約100人が参加しました(写真)。

この事業は平成12年に里山の整備を目的に始められました。以前は篠竹が繁茂していましたが、下草刈りが行われるようになってからはカタクリの群落がみごとな花を咲かせています。

毎年作業が行われることで、篠竹や下草はだいぶ少なくなりましたが、今年はイノシシが掘った跡がこれまでも増して多く見られました。カタクリの球根はイノシシの好物とあって、来春以降のカタクリの開花にも影響が出そうです。

散歩道 (10) 阿左美幼稚園

阿左美幼稚園は地域の多くの方が通園した幼稚園です。南光寺が幼稚園の開園に関わったのも、明治時代の学校開校にあたり、藪塚本町にあった第八番小学校東因舎の第二分校の校舎として活用されました。

後に分校から本校に昇格して「阿左美学校」と改称され、さらに東尋常小学校を経て「笠懸尋常高等小学校」の仮校舎として活用されたという経過があります。

さて阿左美幼稚園は、昭和31年4月10日に南光寺の本堂を保育室として本堂西側に園児用便所、遊具や施設を整備して開園しました。同年10月1日付けで群馬県知事から「阿左美幼稚園」として認可されました。

開園時の園長先生は下山芳五郎氏、園児数は男子14名、女子26名で



した。保育時間は午前8時から正午まででしたが、農繁期に保護者の強い要望もあり午後2時まで行いました。

初期には幼稚園保育の有資格者の先生を得るために関係者が奔走して確保したそうです。

開園から5年後、藤生義順住職が園長先生となり、檀家や保護者の要望の高まりから、境内の東側に独立園舎(保育室2)が完成しました。

続いて昭和42年に遊戯室、さらに昭和48年に保育室2を増設しました。その後も園舎は南側などにも増設されています。

合併前の笠懸町教育委員会では、笠懸の小学校の各学校区に幼稚園を設置、阿左美幼稚園は笠懸東小学校学校区の幼稚園となっています。

高齢者交通安全教室

11月6日(水)午後2時から三区公民館で、交通安全会と親老会の共催による高齢者交通安全教室が行われました。

参加者は区内のお年寄り54名でした。桐生警察の交通課の田口婦警による事故の事例を交えた講話でした。

内容は高齢者の歩行や自転車の交通における事故事例でした。

ちなみに、ワースト記録では、群馬県の高校生の自転車事故は現在全国1位ということです。お年寄りも巻き込まれない対策として反射材の着用も大事なことです。

このほか、希望者には音声に従ってハンドルやブレーキ操作を行う適性検査(ふれあい号)が行われました。

様々な問題が起こる現在、交通事故の被害者と加害者にならないことが大切なことだと、あらためて考える良い機会となる交通安全教室でした。



意外と操作が難しい適性検査

育成会日帰りバス行事 100名参加

9月7日(土)笠懸町第三区子ども育成会主催による、第9回目となる日帰りバス行事が行われました。この行事開催は保護者同伴の参加形式で、学習内容を取り入れながら、子どもと大人との交流を深めることを目的としています。

今年度は子ども61名、大人39名合計100名が参加し、埼玉県にあるイワコーのおもしろ消しゴム工場見学と池袋サンシャインシティ展望台見学に行ってきました。消しゴム工場では社長から常に新しい消しゴムの開発をしているというお話や苦労話を聞くことで、子ども達にはとても良い刺激になりました。1人ひとりが消しゴムの組み立て体験をすることが出来たので、みんな夢中になって作っていました(写真)。



サンシャインシティの展望台では、好天のため景色がきれいに見えました。また、その他にVR体験があり、子どもや大人も一緒に楽しむことが出来ました。今年度は見学箇所は少なかったのですが、一つ一つじっくりと見ることができ、参加者にも大変好評でした。

教育委員に岩野ひろみさん

みどり市教育委員会委員(任期4年・定数4人)に三区在住の岩野ひろみさんが、令和元年6月27日に就任しました。

教育委員会委員は、教育長と委員4人の計5人で組織され、毎月開催される定例会と必要に応じて開かれる臨時会において、教育に関する基本方針や施策を審議し、決定しています。

やよいひめ 誕生物語 (7)

やよいひめは海を越えて-1

テレビでも話題になったが、2018年、冬のピョンチャンオリンピックで銅メダルを獲得したカーリングのLS北見の選手たちが競技の休憩時間の「もぐもぐタイム」で食べていたイチゴが気になった。

はたして、韓国産のイチゴ、それとも日本のイチゴ、日本のイチゴであれば品種は何か。しかし、日本のものを持っていくには検疫がある。そうするとやはり韓国産のものを現地調達するのが現実的かもしれない、などと想像してテレビ中継に釘付けになった。どんなイチゴなのか、イチゴをもった手元がアップになったその時、形は?果色は?



食べた時の果肉の色は?イチゴ関係者であるならば、気になったのは私だけではないだろう。

それだけイチゴは品種で選択され、優れた品種が評価され、高値で取引される品目である。オリンピックで選手たちがあのとき食べていた品種ともなればそれだけでも話題性があるからである。後日のニュースで判ったが、選手が食べていたイチゴ品種は韓国のオリジナル品種だそう。しかしその韓国のイチゴは日本から無断で持ち出されたイチゴ苗を品種改良の母本に使ったものが主となっているという。この背景には日本のイチゴ品種改良技術が進んでおり、優れた品質のイチゴが多いという事実がある。写真は品種改良を行う試験場。(続く)。

マルア出荷組合員 豊洲市場視察

8月22日(木)マルア(○の中にア)出荷組合員20名が2018年10月11日開業した豊洲市場に視察見学しました。

豊洲市場は卸売市場としては全国で初めて前館閉鎖型の施設で、温度管理、衛生管理のもと必要とされる市場機能を整備していて、水産物と青果物を取り扱う総合市場です。

一般見学は、水産卸売市場棟と青果棟内の競り見学エリアまで繋がっており、事前の申し込みにより、案内員の随行による業務エリア内の団体見学を実施しています。

今回は、JAにっただみどり野菜集出荷所を通じて、全農ぐんま東京駐在員の案内により、全国産地から集荷された果菜類を中心に卸売場の見学をすることが出来ました。

また、東京シティ青果(株)の会議室で野菜担当者から全国野菜産地の現状や課題などについて、説明を受けました。特に当地区主力野菜の大玉トマトについては活発な質疑応答が行われ、今後に向けて、参考になる意見交換と情報収集が出来ました。写真:出荷組合の皆さん



東小学校で稲刈り作業

10月23日(水)午後2時から約2時間にわたり、東小学校近くの水田(4アール)で、東小5年生83名と先生、保護者、地域協力者、約25名によるモチ米の稲刈りが行われました。



稲刈り作業を行う子どもたち

これは、5年生の5、6時間目を使う総合学習の一環で6月12日の田植えにつづいての大きかりな作業でした。

今回は台風や低気圧の雨のため予定より一週間ほど遅れての実施でした。この日は秋晴れに恵まれた穏やかな天候の中で、地域の方々や先生、保護者、生徒たちが楽しそうに協力して稲刈りを行いました。

バインダーの機械刈りの実技とドローンの撮影も披露されました。稲は元気のいい生徒たちの力で刈り取られ準備された竿に天日干しとなり無事作業終了となりました。

区内の清掃 阿左美の自然と歴史を探る会

8月31日に、阿左美駅近くの地下道の清掃を行いました。2年ぶりとなる地下道清掃は前日の雨の影響もあり地下道周辺の用水路にも雑草が繁茂するなどしていましたが、参加者達が協力し合い大変きれいになりました。



敬老行事に72人のお年寄りが参加

令和元年10月13日(日)11時30分から13時30分まで、3区公民館ホールで新元号になっての初の三区行政区主催の敬老行事が行われました。

対象年齢75歳以上の三区在住のお年寄り参加者72名が参加しました。みどり市長をはじめ福祉協議会長並びに県議会議員および市議3名の来賓のお祝いの挨拶が行われ、乾杯に続いて恒例のおもてなし料理と余興の時間になりました。

ひまわりコーラスが自慢ののどを披露し、子ども八木節、みずほ会による日本舞踊、三区福祉部による振り込め詐欺の注意を喚起する寸劇が披露されました。

行事の最後には抽選会が行われ、参加したお年寄りは多くのお土産を手にとり帰宅しました。今年は台風19号の影響が心配されるなか無事台風一過の晴天で行うことができました。写真:長寿を祝して乾杯する藤生会長



水の引いた小沼に多くの白鷺

台風19号が接近する、10月10日(木)、小沼に集まった白鷺は浅瀬で餌をついばんでいました。



今年度特別区費、42事業所

三区やその近郊で事業を営む42事業所から、特別区費を戴きました。集まったお金は、区の運営に活用されます。事業所は以下のとおり(順不同)
 (有)サンビーシー群馬工場／／岩瀬産業(株)桐生機工営業所／テクノオリジン(株)／忠兵衛茶屋(有)／(株)創健社／はしづめ歯科医院／窪田縫製(有)／アライサンズ(有)笠懸第一工場／新井木工(有)笠懸工場／業務スーパーパスポート笠懸／小室歯科クリニック／くりた医院／エンドー薬局あざみ店／メンズプラザAOKI笠懸店／セブンイレブン桐生バイパス店／沼田屋タクシー(株)／三恩会東邦病院／(株)河内種苗店／スズキ自販群馬(株)桐生営業所／稲川工業(有)／関東マツダ桐生笠懸店／志なの屋／桐生卸売市場(株)／あすからいふ倶楽部／上毛バナナセンター(有)加工所／かさかけメモリードホール／桂建設株式会社／澤アパート／あざみん家／東武観光(株)北関東営業所／タックス桐生／ビックマーチ桐生店／(株)東邦薬品／萬家／フレッシュイ／スシロー／フィチャネス竹とんぼエニタイムフィットネス／セリア／金子耳鼻咽喉クリニック

鋸山日本寺散策、海鮮浜焼き 区民ハイク

9月8日(日)、笠懸第三区体育協会主催による、千葉房総方面の鋸山日本寺の散策と、海鮮浜焼きの昼食をいただく区民ハイキングが行われました。

当日は好天に恵まれ絶好のハイキング日和で、東京湾アクアラインでゆりかもめに寄った後はお待ちかね、食事の時間です。海辺にある浜焼きの建物にはバーベキューのようにコンロがたくさん並び、貝やエビだけでなく、肉や野菜、デザートも豊富に並べられ、色とりどりの食材をたらふく食べ、誰もが大満足でした(写真)。



食事後はロープウェイに乗って鋸山山頂まで登り、眺望を楽しんだ後に日本寺を散策しました。日本寺は建物で1ヵ所にあるのではなく鋸山全山の各所に大小さまざまな多くの石仏が配され、その他地獄めぐりなどの景観を拝観するというもので、景観を堪能しました。

その後は、三井アウトレット木更津に立ち寄りショッピングを楽しみました。アウトレットの面積はとても広く、全てを見て回ることはできませんでした。

参加者は、景色を堪能しただけでなく、新鮮な海鮮でおなかを満たし、大変満足できる内容だったようです。

阿左美沼小沼周辺の草花植栽



11月9日(土)、阿左美の自然と歴史を語る会が小沼西側にパンジー・ビオラ・スノウポールの苗の植栽を行いました。

一列に植えられた花々はきれいな色合いを見せて、通行する人たちの目を和ませていました。

ちょっとピンぼけ

ここ数年の笠懸第三区の様子を見ていると、急激に景観が変わってきているように感じられます。

例を挙げれば、阿左美駅の移転、アピタの閉店とそれに代わるアクロスプラザ笠懸店、県道桐生伊勢崎線の競艇場周辺の改良と拡幅工事の実施・・・とここ最近だけでも幾つも挙げられます。

少し前に遡れば岩宿駅南側の建設改良、大型電気店の国道50号線に面しての建設などがあり、個人店舗についても目まぐるしく変わってきています。市内外の変化に伴うものですが、今後さらにどのように変わっていくのか想像もつきません。

笠懸第三区だけでなく、行政の方でも厳しい財政状況を乗り越えていくため、これまで市で保有していた公共施設の運用方法を見直す「公共施設等総合管理計画」が発表されたことは、新聞でご覧になった方もいることと思います。行政施策面や財政面でもさらに取り組み方が変わってくるのかもしれない。

どのように変わっていくのか、今の時点では分かりませんが、どの行政区も特色があり、これまでその特色を活かしつつさまざまな活動を営んできました。

三区を取り巻く環境がどのように変わろうとも、その地域の良さは失わないようにしたいものです。